

第5学年1組 学級活動（1）指導案

令和3年9月28日（火）第3校時
5年2組教室（在籍児童39名）
深谷市立藤沢小学校
指導者 教諭 小泉 琢磨

1 議題 「5の1オリンピックをしよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、明るく元気のある児童が多く、学習や運動に意欲的に取り組んでいる。初めての委員会活動にも前向きに取り組んでいて、自分の仕事や役割を果たそうとしている様子が多く見られる。学級内の仲もよいが、一方で、友達とのやりとりを優先して、時間や学習規律に対する意識が低くなってしまう傾向がある。また、自分の気持ちをコントロールすることに課題がある児童もいる。

これまでの話し合い活動では「5の1たなばたまつりをしよう」「クラスのキャラクターをつくろう」などの議題で計7回の学級会を行ってきた。みんなで楽しいことをしたり、同じ思いで何かをつくったりすることで、学級への所属意識が高まってきている様子が見られる。集会活動では「5の1なかよくなるろう会」「5の1たなばたまつり」「T先生（教育実習生）ありがとう会」と3回行ってきた。毎回振り返りを行い、成果と課題をまとめたものを教室に掲示している。よかった点がたくさん出てくる一方で、課題も的確に捉え、改善してきている。T先生ありがとう会では、相手意識をもって、協力して準備を進める中で、協力して取り組む様子が見られた。しかし、残りの2つは自分たち自身のための会であり、時間の意識やおしゃべりなどの課題は共通していた。また、話し合いの中では、友達の意見に関連する発言や折り合いをつけた発言などが増えてきて、時間も意識してきているが、まとめる段階では、自分たちで時間内に決めることに課題がある。

（2）議題選定の理由

本議題は、コロナ禍で長く午前中4時間の短縮日課が続き、運動会も中止になってしまった中で、夏に盛り上がったオリンピックのように「クラスのみんなで楽しく盛り上げて今年度の思い出を作りたい」という声から提案されたものである。クラスのキャラクターやクラスの歌ができ、さまざまな思い出が積み重なってきている中で、より仲よくなって学級の思い出が増えるように願いを込めて話し合う。これまでの経験をもとに、児童が主体的に意見を出し合い、折り合いを付けながら自分たちで合意形成をして決定し、実践する力を身に付けられるようにしたい。本議題以外には「ハロウィンパーティーをしよう」「いただきますを早くしよう」の議題も出されていたが、ハロウィンには時期が少し早いことや、給食については改善が見られているため個人個人で気をつけていけばよいということから、本議題が選定された。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 事前の活動

月 日 (曜日)	活動 の場	活動の 主体	活動の内容	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
9月 21日 (火)	業間 休み	計画委員	・議題ポストの提案か ら議題を選定する。	○議題選定用紙を用いて議題選びの視点を明 確にし、提案理由の意義を理解して選定でき るように助言をする。
	帰りの 会	全員	・議題を決定する。	○計画委員会の提案をもとに全員で決定する。 提案されたすべての議題のよさを称賛する。
9月 22日 (水)	業間 休み	計画委員 提案者	・提案理由を練り上げ る。 ・活動計画を作成する。	○みんなが納得できるような提案理由になる ように指導・助言をする。 ○前回の反省を生かそうとする視点をもつこ とができるように助言する。 ◎5の1オリンピックを開くために話し合わ なければならないことを理解している。 (知識・技能)【計画委員会活動計画・観察】
9月 24日 (金)	業間 休み	計画委員	・決まっていることを 確認する。 ・話し合うことを決め る。	○実態を踏まえ、日時や場所などの条件を教師 が設定する。 ○話し合うことを決める際には、全員でしっか り時間を取って議論すべきことを選ぶよう にする。 ○内容によっては事前にクラス全員で決定し、 決まっていることを共有できるようにする。
	帰りの 会	全員	・学級会ノートに自分 の考えを記入する。	○会のめあてを意識して考えるように助言を する。 ◎会のめあてに沿った意見を考え、判断し、ノ ートに書くことができる。 (思考・判断・表現)【学級会ノート・観察】
9月 27日 (月)	業間 休み	計画委員	・全員の学級会ノート に目を通し、出され た意見を確認する。 ・話し合いの準備をする。 話し合うこと①では 短冊に記入する。	○出された意見から話し合いの見通しがもてる ように助言する。 ○役割や仕事内容を確認して、意欲をもって活 動できるようにする。
9月 28日 (火)	朝の会	全員	・教師からコメントが 入った学級会ノート を受け取る。	○学級会ノートに励ましの言葉を記入してお き、活動意欲を高める。

5 展開

(1) 本時のねらい

- ・「5の1オリンピック」に関心をもち、共感的な態度で、積極的に話し合おうとしている。
- ・様々な意見から、みんなが納得できるように合意形成を図ることができる。

(2) 児童の活動計画

計画委員会記録ノート		
百会	期司会	黒板記録
話し合いの計画 第九回学級会 9月28日(火) 第3校時		
議題	5の1オリンピックをしよう。 提案者	
提案理由	この夏オリンピックが盛りあがりすぎて、勝ち負けを競ったり、協力したりしている様子を見ることができず、5の1オリンピック22日開いてみんなは盛りあがるといっている。勝つことが目的でなく、運動を楽しむことが目的で、盛りあがりたいです。	
めあて	オリンピックらしく盛りあがる5の1オリンピックを死なそう。	
柱	①種目を何にするか ②オリンピックらしくする工夫 ③役割分担	
決まっていること	1% (水) の座席から 離合式・閉合式 チームはくじ引きで3チーム 3種目やる。(→けりレー)	
話し合う順序	時間	話し合いの進め方で気をつけること
1 はじめの言葉	10:50	大きな声で「はっぴり」という。
2 ✕		
3 司会グループの紹介	10:50	一人一人の目あてを事前に考えておき どうぞと発表する。
4 議題の確認	10:55	「さんはい」と言ってみんな読んで読む。
5 提案理由の説明	まで	さんに説明してもらう。
6 めあての確認		
7 決まっていることの発表		さんから発表(大きな声)
8 話し合い		①くじ合ってから話し合う。 ②ほかになにか聞いてからくじあうから話し合う。 ③ネームプレートを使って希望を取り出す(合ったり、ジャンプ)
① 11:05		
② 11:15		
③ 11:25		
9 決まったことの確認	11:25	さんから発表。(大きな声) できめる。
10 ふりがえり	11:35	かじ自分のプリントに書く。
11 先生の話	まで	
12 終わりの言葉		
ふり返り		

7 事後の活動

月日 (曜日)	活動の内容	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
9月29日 (水) ～ 10月5日 (火) 休み時間・学級の 時間	各係の準備	○実践までの見通しをもって計画的に活動できるように指導・助言する。 ○意欲的、協力、工夫して活動している児童を称賛する。
10月6日 (水) 学活	実践	○意欲的に活動している児童を称賛しながら、教師自身も笑顔で活動を見守る。 ◎会の目的を考え、友達と協力して準備や実践をしている。 (態度) 【観察・振り返りカード】
	振り返り	○自分の態度や事前から事後までの活動を振り返り、今後に生かせるようにする。